

戦後最悪の通常国会閉会にあたり、安倍政権退陣・安倍9条改憲ストップへ

## 「3000万人署名」運動をさらに広げることを呼びかけます

大阪北部地震、そして西日本の記録的豪雨、それに加えて、命にかかわるような危険な暑さが列島を襲っています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、きょうも各地で支援活動に力を尽くしておられる皆さんに深く敬意を表します。

いま、あらためて、政治の役割が問われています。国民の命と暮らしを守ることにこそ、政治は力を尽くさなければなりません。ところが、豪雨災害対策よりもカジノ実施法案の成立が優先され、さらに、たった10時間の審議で党利党略の参議院選挙制度の改変が強行されて、国会が閉幕しました。

1月から7月まで、延長されて182日間にもわたった通常国会は、戦後最悪の異常国会となりました。「森友」「加計」疑惑について、安倍夫妻の関与を示す動かしがたい証拠が次々と野党から突き付けられたのに、解明に背を向ける安倍内閣はウソにウソを塗り重ねました。そして、公文書の改ざん、交渉記録の破棄、自衛隊の「日報」隠蔽、セクハラによる人権侵害など、民主主義の根幹を破壊する異常事態が繰り返されました。

さらに、改ざんデータや虚偽データを根拠にしたまま「働き方改革一括関連法案」の成立が強行されました。許されません。労働時間規制を取り外す「高度プロフェッショナル制度」は、戦後労働法制の土台を覆すものであり、廃止を求めてたたかいます。さらに、月100時間未満などと言う残業上限や同一労働格差賃金制など、改悪を職場に入れさせないたたかいをすすめます。

通常国会の閉会にあたって、私たちはあらためて、安倍政権の退陣をつよく求めます。民主主義破壊、国民無視、命と暮らしを破壊する安倍政権に、政治を担当する資格はありません。

一方、安倍首相が狙う「今年中に改憲発議」というスケジュールは、私たちの運動により、変更を迫られています。今通常国会において、衆議院憲法審査会はたった2回6分間の審議で終わりました。参議院憲法審査会もたった2回2時間8分の審議です。「3000万人署名」に示された声と運動が、憲法審査会を開かせない力になっています。「3000万人署名」運動に後押しされた野党の共同が、改憲を止めているのです。

しかし、安倍首相は、今国会閉幕後の記者会見で、「憲法改正は結党以来の党是で長年の悲願だ」と改憲への執念をあらためて示しました。激しいせめぎあいです。日本の未来がかかった負けられないたたかいです。文字通り「3000万人」の署名を集めきって、安倍改憲策動を葬り去りましょう。

国会会期中、朝鮮半島の平和と非核化をめざした歴史的な動きが、対話と外交によって始まりました。昨年、安倍政権が北朝鮮の脅威を煽り立てる中、私たちは、「絶対に戦争を起こしてはならない、憲法9条を生かした外交こそ」と訴え続けましたが、この間の動きは憲法9条にこそ紛争解決の力があることをあらためて示しました。

「3000万人署名」は、9条を変えさせない署名です。憲法を守り生かす政治を求める署名です。安倍政権を退陣に追い込む力になる署名です。朝鮮半島の平和のプロセスを前へ進める署名です。「3000万人」署名をさらに大きく広げ、情勢をきりひらきましょう。

1. 「3000万人署名」の各組織目標達成に向けて、奮闘しよう。※9月30日を第4次集約日とします。

①職場全員、②すべての組織、③地域住民過半数、を目標に全戸訪問や手紙作戦にとりくもう

2. 9月1日～9日を「全国一斉署名行動週間」とします。音も出し、目に見える宣伝を展開しよう。

3. 9月19日（水）は、「戦争法強行から3年 怒りの19日行動」です。全国各地でとりくもう。

・中央は、9月19日（水）18:30～日比谷野音で集会 集会後、銀座パレード予定

4. 国会議員の地元事務所や政党の地元事務所を訪問し、要請しよう。

以上